

**新発想****化学反応で防錆被膜をつくる  
化学反応型防錆剤**

自動車や新幹線は、海岸線など海水や海風の影響を受けやすい場所を走行中、塩害の影響を受けてしまいます。

また、雪国などで道路に散布される融雪剤も、自動車の車両下回りの錆の原因となります。そのため、自動車・新幹線などの車両下回りの錆を防ぐことは、耐久性・安全面において非常に重要です。

しかしながら、従来の防錆剤を用いた施工は、施工部分の素材への悪影響を懸念して、部分的にマスキングしなければならず、時間と技術を伴う負担が大きい作業でした。

**誰でもできる簡単施工  
特別な装置や高度な技術は一切不要**

コルペエコー株式会社は、これらの問題をクリアするために化学反応を用いて防錆被膜をつくることに成功しました。

この化学反応型防錆剤は、スプレーあるいは噴霧器で吹き付けるだけで、施工面に無色透明の防錆コーティングができる画期的な商品です。

さらにゴム・樹脂・車両に対して悪影響を与えません。

そのため、これまで面倒だったマスキング工程は不要となり、作業時間も短縮できるため施工費を抑えることができます。



車両下防錆加工の下準備

一般的なコーティング剤と異なり単に表面を塗装するだけでなく、走行中に巻き上がったカルシウムを利用して金属石鹼に変化させ、ペイント化させるためキズがつきにくく、亀裂の広がりも軽減します。

また、塩素は空気中に蒸散しながら徐々に気化させるため、金属腐食を防ぎます。

車両だけでなく、門扉、農機具、リフトなど様々な鉄製品に施工可能です。

これらの技術の応用は、NASAや宇宙開発センター、原子力発電所でもコーティング加工として取り入れられています。

